

## 白保村ゆらていく憲章に基づくふるさとづくり (平成23年度認定)



白保地区は石垣島の南東部に位置し、県内有数のさとうきび生産地である石垣市の中で最も農業が盛んな地域である。その中で、オースクマニングや豊年祭など、農業に関わる神事や祭事を今に受け継いでいる。

また、伝統ある白保村の歴史、文化、生活、自然を次世代に継承するとともにより一層の発展を図るため「白保村ゆらていく憲章」を策定した。これに基づき、“海と緑と心を育むおおらかな白保”を将来目標とした新しい村づくりに取り組んでおり、次世代を担う地域リーダーの育成や地域を挙げたサンゴ礁の保全、伝統的な漁具「海垣(いんかち)」の復元・活用、伝統的な街並みの修景、白保日曜市の実施、白保村ゆらていく祭りの開催など、伝統文化や自然環境の保全と活用による持続的な地域づくりとして、「白保村ゆらていく憲章に基づくふるさとづくり」に取り組んでいる。



街並み修景事業



グリーンベルト大作戦



白保日曜日市



豊年祭



海垣(いんかち)漁体験



世界海垣サミット開催